



タキイ育成
ロメインレタス

アイスロマリア

農林水産省品種登録出願中(品種名: TEXLE191168A)

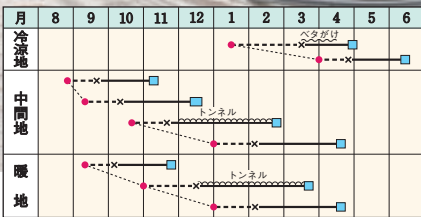
低温期の栽培に適し、玉肥大にすぐれる
べと病耐病性ロメインレタス!

タキイ熊本研究農場 喜多村 直人



ポイント

- ✓低温期でも玉の肥大がよい
- ✓「ロマリアシリーズ」の食味
のよさ
- ✓べと病耐病性



ロメインレタスといえば真っ先にシーザーサラダを思い浮かべる方も多いと思いますが、そのシャキシャキとした食感に加え、玉レタスや他の非結球レタスにはない肉厚感や店もちのよさから、近年カットサラダをはじめとする業務加工や外食・中食での使用も目立つようになってきました。

そのような需要に応えるためにタキイでは適温期に適する「ロマリア」、高温期に適する「晩抽ロマリア」をこれまでリリースし、産地での栽培安定を図ってきました。しかし、中間・暖地の冬どりや冷涼地の春どりなど低温期の栽培では、玉肥大がより安定し、冷涼多湿環境で問題となりやすい「べと病」に対する耐病性を有する品種の開発が望まれていました。

このような状況から、幅広いレースのべと病に耐病性を示し、「ロマリア」、「晩抽ロマリア」と同じく食味のよい品

「アイスロマリア」栽培メモ

肥料の目安 (10a 当たり)	暖地冬・厳寒期どり、中間地早春どり N : P : K = 15 ~ 30kg 上記作型以外 N : P : K = 10 ~ 18kg
定植基準 (株/10a、 畝幅、 株間など)	全面マルチ栽培：畝幅45cm、株間25cm 前後 多条栽培：畝幅150~180cm、2~4条植え、 株間25~30cm、条間30~40cm
栽培 ポイント	●中間・暖地の冬、厳寒期どり栽培ではトンネル栽培が基本。 ●トンネル被覆開始は平均気温10℃を目安とし、日中は25℃を目安に換気する。

種の育成を進め、今回低温期の栽培に適する「アイスロマリア」を新発表することになりました。品種特性、適作型、栽培ポイントなどをここに記しますので、品種導入の参考にしていただければと思います。

品種特性

▶ 玉肥大がよく低温期の栽培に適する

葉は濃緑色で草勢が強く、玉の肥大と結球性にすぐれ低温期の栽培が容易です。「ロマリア」、「晩抽ロマリア」との組み合わせで幅広い作型での出荷計画が可能となります。

▶ 形状が安定し食味良好

玉形状は安定し^①筋がねじれにくく、出荷時の荷傷みが少ない品種です。また、適期収穫では、結球葉の歯切れがよく苦みが少ないため食味良好です。

▶ べと病耐病性

冷涼・多湿条件下やハウス・トンネル栽培での蒸し込み時に発生しやすいべと病の幅広いレースに対して耐病性を示します。

栽培ポイント

① 安定した生育を促す肥培管理

低温期の栽培は生育日数が長く、初期からスムーズに生育を進めることが重要です。元肥主体で速効性の肥料を施し、適期での整地・マルチングで圃場を適湿に保ちます。

施肥量は玉レタスと比較して同等から2割増を目安としてください。若苗定植を心掛け、定植後は灌水を行って活着を促進します。干ばつ時は早めの灌水で生育が停滞しないように管理します。

② 凍霜害対策

低温期の栽培で凍霜害の発生が懸念される場合は、トンネルやバタ掛け資材を用いた被覆管理を行ってください。特に中間・暖地の冬、厳寒期どり栽培ではトンネル栽培が基本となります。トンネル被覆開始は平均気温10℃を目安とし、日中は25℃を目安に換気します。

③ 適期での収穫

「アイスロマリア」は結球性にすぐれる反面、収穫適期を過ぎると肋の傷みなどの品質低下を招く恐れがあります。計画的な播種・定植と余裕をもった収穫を心掛けましょう。

④ べと病、各種病害への対策

灰色かび病、菌核病など諸病害に対しては生育初期から薬剤散布による予防防

「アイスロマリア」、「ロマリア」、「晩抽ロマリア」の使い分け

幅広い作型で食味のよいロメインレタスの栽培が可能！

今回新発表する「アイスロマリア」に加え、適温期向きの「ロマリア」、高温期向きの「晩抽ロマリア」を取りそろえています。作型に応じて使い分けることで幅広い時期に食味のよいロメインレタスを継続的に出荷することができます。

アイスロマリア

玉肥大にすぐれ中間・暖地の冬・厳寒期どりや冷涼地の春どりなどの低温期の栽培に適します。また、冷涼・多湿環境で発生しやすいべと病に対して耐病性を示します。

ロマリア

適温期を中心に冷涼地の初夏・秋どりや中間・暖地の秋～年内どりと春どりに適します。根腐病レース1・2に複合耐病性で、発生が懸念される圃場でも安心して栽培可能です。

晩抽ロマリア

冷涼地の夏どりや中間・暖地の初秋どりなど高温期の栽培に適し、晩抽性と結球性にすぐれます。「ロマリア」同様、根腐病レース1・2に複合耐病性です。

除を行うことが大切です。風雨で葉が傷んだ場合にも速やかに薬剤散布を行い、病害の発生や進展を予防します。
また、レタスのべと病はレース分化が起こりやすい病害です。「アイスロマリア」のような耐病性品種を栽培する場合でも、多湿環境を避けるとともに登録農薬による防除を行ってください。

ロメインレタス「ロマリアシリーズ」の適作型の目安

地域	品種名	播種時期の目安	収穫期											
			9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
冷涼地	晩抽ロマリア	5月上旬～7月	■	■	■								■	■
	ロマリア	7月下旬～8月中旬 2月下旬～5月中旬		■	■	■					■	■	■	■
	アイスロマリア	1月中旬～3月							■	■	■	■		
中間地	晩抽ロマリア	8月		■	■	■								
	ロマリア	8月中旬～下旬 1月～3月上旬			■	■	■			■	■	■		
	アイスロマリア	8月下旬～9月上旬 10月下旬～12月				■	■	■	■	■	■			
暖地	晩抽ロマリア	8月中旬～9月上旬		■	■	■								
	ロマリア	8月下旬～9月中旬 11月中旬～2月中旬			■	■	■	■	■	■	■			
	アイスロマリア	9月上旬～12月				■	■	■	■	■	■	■		

※詳細は品種別の適期表をご確認ください。